



市長の

部屋から 13

施策や考えを発信



「自然と人との共生モニユメント」

平成22年7月15日、集中豪雨により可児川が氾濫し、土田地内で1人の尊い命が失われ、2人が現在でも行方不明となっています。さかのぼること平成11年9月にも、久々利川で1人の若い女性が、濁流に飲み込まれ、未来ある命が失われました。

これらの尊い生命を失ったことを無駄にしない、それが、私たちの使命です。そのためには、過去の悲劇をしっかりと記憶に留め、将来に引き継いでいかなければなりません。

自然は、時として私たちに過酷な災害をもたらします。しかし、それを超える大きな恵みを与え続けてく

れます。私たち可児市民は、ここを改めて、自然に対する畏怖と敬愛の念を、未来永劫にわたって伝えていくことを誓いたいと思います。

本市在住の世界的な彫刻家・神戸峰男氏も、集中豪雨による災害を目の当たりにし、自然と人間に対する鎮魂の思いを込めてブロンズ像「丘」を制作されました。このブロンズ像を、自然と人との共生モニユメントとして、土田地内に建立したい旨を申し出たところ、快諾いただきました。「丘」は横たわる女性の像で、自然と人間との共生の大切さを表現しています。

モニユメントの建立にあたり、広く市民の皆さんから寄附を募りたいと思います。これは、このモニユメントを市民全体で共有したいという思いからです。一人でも多くの方々のご協力ご署名をお待ちしています。



ブロンズ像「丘」

市長 富田成輝

※市役所、各連絡所、福祉センター、文化創造センターに募金箱を設置しています。